

人類学 II

科目ナンバリング ANT-102

【VII】 選択 2単位

鈴木 敏弘

1. 授業の概要(ねらい)

人類学とは、「生物としてのヒト」を総合的に研究する学問で、ヒトとは何かを科学的に偏りなく理解し、実証的で妥当性のある人間観を確立することを目標としています。

アプローチの方法としては、人類の身体形質を主対象として主に自然科学的観点から「ヒト」を探求する自然人類学と人類の文化・社会を主対象とし主に人文科学的観点から「人間」を探求する文化人類学とに大別されることが多いのですが、本講義では、総合人類学の視点から日本人の発生について考えていきたい。

2. 授業の到達目標

人類学という学問の特質が理解できる。

人類の本質(他の生物種との共通性と異質性、人類の独自性・特質)とは何かを理解できる。

人類の由来(起源と進化・変遷)とはどのようなものであったかを理解できる。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験・授業態度・出席(出席が不足する場合にはマイナス評価もしくは単位ができません)を総合的に勘案して評価します。

試験が不可能な場合は、レポートとします。

4. 教科書・参考文献

教科書

テキストは使用しません。

5. 準備学修の内容

国立科学博物館の見学をして欲しい。

6. その他履修上の注意事項

講義中ノートをとること。病気等やむを得ない場合以外は必ず出席すること。

進捗状況により、内容を変更する場合があります。

13回目 12月20日 と14回目 1月17日の間にLMSに録音データをUPします。弥生人以降の日本人②がLMSとなります。20日以降早めにUPします。

7. 授業内容

【第1回】 ガイダンス・人類学の世界

【第2回】 人類学の発生①

【第3回】 人類学の発生②

【第4回】 人類、アフリカからアジアへ①

【第5回】 人類、アフリカからアジアへ②

【第6回】 アジアの人類学

【第7回】 日本人の発生～沖縄で発見された人々

【第8回】 旧石器人から縄文人へ

【第9回】 縄文人の世界

【第10回】 縄文人と弥生人

【第11回】 弥生人の特質

【第12回】 弥生人の世界

【第13回】 弥生人以降の日本人① 12月20日

【第14回】 弥生人以降の日本人② 12月20日と1月17日の間 LMSに録音データ

【第15回】 まとめ・試験13回目 1月17日